

2級／3級インストラクタースキルアップ研修会 開催報告書

8月1日、仙台市シルバーセンターを会場に宮城県内の2級／3級インストラクターを対象とした研修会を開催しました。

今回の研修会は宮城県内の2／3級審判インストラクターのスキルアップを図り審判員に一貫した指導を図る事を目的とし、加藤審判委員長、鮎貝S級インストラクター、西村雄一PRを講師に迎え「タフでフェアでスピーディなプレーを」「定型パワーポイントを用いた指導」「FIFA作成の Learningmodulesの使用法指導実践」のテーマを基に限られた時間ではありましたが審判員指導の方法について研修を行いました。

インストラクターも審判員同様「学ぶ姿勢」「向上心」が大切である事の共通認識を図り、今回の研修会は「動き」を交えながらグループ作業やディスカッションを実施し内容の濃い研修会となりました。



研修会の様子



ファールの見極めにおいて考慮すべき点を書き出し、更に考慮点を細分化し分析を実施。

金澤和夫 インストラクター部長コメント

今回の研修会では、加藤審判委員長以下10名のインストラクターに参加して頂き、講師として鮎貝S級インストラクター、西村PRを招いて研修会を実施いたしました。

研修内容は、鮎貝講師からはFIFA及びJFA行っている指導方法を共有化していただきました。インストラクターから一方的に指導するのではなく、付箋等をもちいてファール等の見極めにおいて考慮すべき事項を書き出し細分化を実施して認識の統一化を図ることができました。

西村PRの講義では、今年度において県の強化審判員に対して2回の研修会に指導して頂いた事項について我々インストラクターに情報の共有化を図った頂きました。

今回の研修会で思ったことは、講義形式にこだわらずグループ討議を交えて発表し意見を聞く機会を持たせ参加者を引き込むもしくは、興味をもたせて引き込む手法など知識を整理することができました。また、若手審判員を指導する立場にある我々インストラクターはJFA・地域トレセン・PR等による指導等を理解して一貫した指導が出来ることが重要であることを再認識して、一人でも多くの上級審判員を育てあげるよう今後のインストラクター活動に精進していきたいと思えます。

木口寛 インストラクターコメント

今回の研修会では、前半に加藤審判委員長、鮎貝S級インストラクターにより、FIFA、JFAが行っている審判員への最先端の指導方法の数々を共有化していただきました。また、後半は西村PRが、審判へ行っている講義を我々インストラクターに対して実践していただきました。西村PRの講義では、参加者を引き込むための工夫(たとえば、講師が教室を動き回ること、講義形式でなくグループ討議、発表など他の参加者の意見を聞く機会を確保するなど)が至る所に仕込まれており、非常に緻密に計画されたもので、楽しく、またわかりやすく知識を整理できる内容でした。

今回の研修会で共通することは、我々が指導している若手審判員は、JFA、地域トレセン、PRによる指導など数多くの機会において最先端の教材、指導方法で指導されており、その指導効果を高めるためにも、県内においてもJFAなどが行っている指導を理解し一貫して行うことが重要であるということです。そのためにも、我々インストラクターもアンテナを高くし、日々精進することが、責務であると再確認しました。この研修会で教わったことを今後のインストラクター活動につなげ、一人でも多くの上級審判員を輩出できるように頑張っていきたいと思えます。